



# はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

## 雷から身を守るには？

屋外でのイベントや学校行事が増える春から秋にかけては雷が発生しやすい時期です。今回のはれるんマガジンは「雷から身を守るには？」をテーマにお届けします。

### ■そもそも雷はどんな現象なの？

雷は積乱雲の中で発生し大量にたまっていた静電気が解放される現象です。

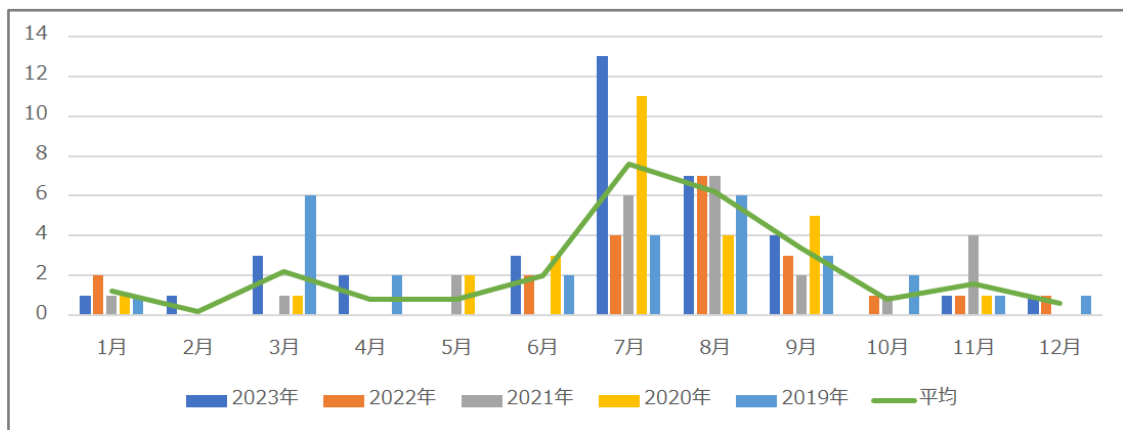
水分を含んだ空気の塊が上昇気流によって持ち上げられると、気圧の低下に伴い空気の塊は膨張していきます。膨張に伴い、温度は下がっていき、やがて空気の塊の中の水分は水滴や氷のつぶとなり、これらが集まって雲となります。上昇気流が強いと、雲は上空高くまでどんどん成長し積乱雲となります。積乱雲の中では、大小さまざまな大きさの氷のつぶがぶつかり合うことによって静電気が発生し蓄積され、限度を超えると解放（放電）されます。これが雷です。雲と地上の間で起こる放電を対地放電（落雷）といい、雲の中や雲と雲の間で起こる放電を雲放電といいます。



雷をもたらす積乱雲

雷は栃木県のような内陸部では夏に多く、石川県のような日本海側の地方では冬に多くなります。福岡県では夏に多く、7月にピークを迎えます。

月ごとの福岡管区気象台で雷が観測された日数



## ■雷から身を守るには？

多くの場合、積乱雲が近づいて雷が発生する前には次のような変化があります。



黒い雲が近づいてくる



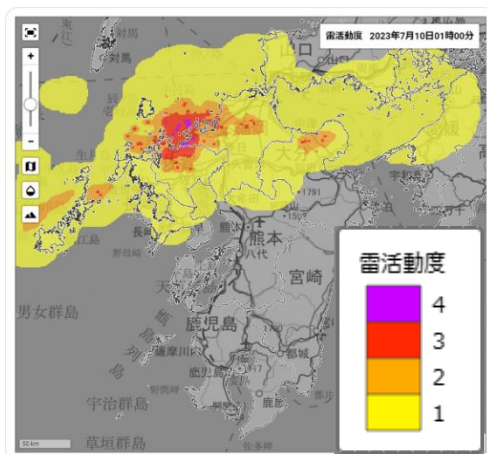
遠くで雷の音が聞こえる



急に冷たい風が吹いてくる

雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳など所を選ばず落ちます。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や屋根などの高いところでは、人に落雷しやすくなるので、上のような積乱雲が近づく兆しを感じたらすぐに危険な場所から離れる、丈夫な建物などにしばらく避難することが大切です。

そして、併せて大切なことが気象情報の確認です。雷が予想される場合は、気象台は「雷注意報」を発表し、注意をよびかけます。また、今どこで雷が発生しているかや雷の激しさ(雷活動度)、今後の予測は気象庁ホームページ(HP)「雨雲の動き・雷ナウキャスト」で調べることができます。



雷ナウキャストの表示例

最新の雷ナウキャスト  
(気象庁 HP)



雷ナウキャストの見方  
(気象庁 HP)



外出や屋外活動の際は、その地域に雷注意報が発表されていないかどうか確認し、発表されている場合は雷ナウキャストで雷の状況を随時確認し、雷の危険が迫ったら速やかに避難することが雷から身を守ることに繋がります。

## ご意見をお待ちしています

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail：fukuoka\_bousaichosa@met.kishou.go.jp



次回の発行は2024年5月の予定です。